





感震ブレーカーに係る規定の整理

改正の概要

大規模地震が発生した際の火災の約半数が、電気が原因の火災となっている。今後、首都直下型地震をはじめとする大規模地震に備え、感震ブレーカーの設置を普及促進することで、地震による電気火災を防ぎ、市民の生命・財産を守ることを目的とする改正である。

感震ブレーカーの種類

種類	分電盤タイプ	感震リレータイプ	コンセントタイプ	簡易タイプ
外観				
特徴	分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電源を遮断する。	分電盤に感震機能を外付けする。漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断する。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断する。
価格	5万円～8万円(標準的なもの)	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
取付方法	電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある。	電気工事が不要